



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和5年11月30日 第8号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

相手のことを考えて行動しよう

校長 藤井 衛

金井小学校の10月、11月の生活目標は「相手のことを考えて行動しよう」です。最近、ニュース等で「人権問題」が取り上げられることが多くなりました。日本は他の国に比べて人権意識が低いのでは？と言われることがあります。学校現場でも「人権教育」を積極的に取り入れるようにと指導されています。

私たち人間は、自由に生きていたいと思うのがあたりまえです。そんなふうに「人間らしく生きる自由」のことを「人権」と言います。お腹がすいたら食べる。眠くなったら眠る。行きたいところに行ける。「人間らしく生きる自由なんて、当たり前だし、普通のことだよ」と思っていませんか？しかし、そんなこともないのです。実は、私たち人間は、お互いに「人間らしく生きる自由」のじゃまをしてしまうことがたくさんあります。例えば、戦争をしている国があります。そこでは、突然、爆弾が落ちてきて死んでしまうことがあるのです。いつも恐怖の中で生活しています。生きる自由のじゃまをし合っています。世界には食べ物が手に入らなくて死んでしまう心配のある人たちもたくさんいます。外国人だからと言って、意地悪(いじわる)をされている人もいます。人権のじゃまは、実は、私たちの近くでもしょっちゅう起こっています。仲間外し、悪口、悪ふざけ、いじめなどで嫌(いや)な思いをしている子は、楽しく生活する自由が奪(うば)われています。教室でふざけて騒(さわ)ぐくせのある子は、落ち着いて勉強したい子の自由のじゃまをしています。いつも片付けや準備が遅い子は、他の子が自由にできる時間をうばっているのかもしれない。そう考えると、私たちは、他の人の「人間らしく生きる自由」のじゃまをたくさんしてしまっているのです。このようなことを人権侵害(じんけんしんがい)と言います。

だから、「誰かが悲しい思いをしていないか」「自分は人に嫌(いや)な思いをさせていないか」ということを、いつでも気にし合うことが大切です。相手のことを考えて話したり行動したりできる子が増え、安心安全でみんなが自由に生活できる金井小学校になってもらいたいと願っています。